

# 平成22年度施策評価表

(平成21年度の振り返り、総括)

作成日 平成 22 年 4 月 14 日

施策No.	16	施策名	公共交通の充実
主管課名	商工観光課	主管課長名	関口 斎
関係課名	建設課、農林水産課		

施策の目的 【対象】	①市民	対象指標名	単位	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	目標年度 (年度)
		①市の人口	人	46,459	46,036	45,562			

施策の目的 【意図】	(対象①) ①市民のニーズに対応した安全・安心な交通手段が確保されて、多くの市民が利用している。	成果指標名	単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	23年度目標	目標値
		①-1.公共交通機関利用者数(JR・地鉄のみ)	人	1,550,691	1,565,425	1,512,925	1,650,000		
①-2.魚津市民バス利用者数	人	140,934	171,966	173,060	120,000				

成果指標設定の考え方	<p>①-1. JR、地鉄の利用者数を見ることで、どれだけの市民が公共交通機関を利用しているかが分かるので、これを成果指標とした。</p> <p>①-2. 魚津市民バスの利用者数の推移をみることで市民のバスの利用実態がわかり、これを成果指標とした。</p>
------------	--

成果指標の把握方法(算定式等)	<p>①-1. 商工観光課の調査(JR、地鉄への聞き取り調査)により把握。</p> <p>①-2. 商工観光課の調査資料(毎日の乗降客数の集計値)により把握。</p>
-----------------	---

施策の成果向上に向けての役割分担	市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JRや地鉄をはじめとする公共交通機関を積極的に利用する。</li> <li>・市街地や郊外における利便性や回遊性の向上等のために、市民バスを利用していただく。</li> </ul>
	市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通の利便性の向上について、関係機関等に働きかけ等を行う。</li> <li>・魚津市民バスについては、路線の整備、利用のPRを図る。</li> <li>・港湾の整備を計画的に実施する。</li> </ul>
	その他	

